

ふるさと絆事業 日野中学校花壇に「さつき植樹」

日野町地域学校協働活動推進事業（愛称・ふるさと絆事業）はこのほど、レイカティア大学日野分会（木瀬昭大分長）の皆さん（八人）と日野中学校環境委員学生会徒二十人が、同学校グラウンド側の花壇に「さつき植樹」を行った。

ふるさと絆事業は地域の未来を担う子どもたちを健やかに育むため、幅広い地域住民等の参画により、地域と家庭が連携・協働して子どもたちの成長を支え、地域を誇りに思い創生する



活動を推進するため、地域全体で学校教育を支援し、子どもたちを育む体制づくりを確立することを目指している。二年程前から、校庭の庭木や花壇の植木などの世話が学校だけでは追いつかず、ふるさと絆事業としてボランティアを募集し、レイカティア大学日野分会の皆さんが手を挙げたという。



以来植木の刈り込みや草引きなど年三回ほど手入れをしてきた。今回花壇の『さつき』が枯れたものを綺麗に取り除き、元気なさつきを集めて一か所に固めて植え、空いたスペース三ヶ所

に新たに二百八本のさつきを植えた。百本のさつきと肥料はレイカティア大学日野分会の皆さんが、日野駅舎のないろで出店している「レイカカフェ」の収益から寄付。残りの百八本は、JAのグリーンピース基金を使用した。斉藤清治さん（79）が、どれぐらい土を掘るか、固形肥料（植林用の成分低めの自然にやさしいもの）を入れる位置など植え方を教え、縦横四十七センチ間隔で植えていった。小雨の降る寒い中の作業となったが、生徒たちは手伝ってもらいながら、手際よく楽しそうに植えていた。



「もう少し簡単に植えられようと思っていたら、手順があつて大変でした。でも一から優しく教えて下さつてありがとうございました。これからも交流して、いろんなことを教えてもらえたら嬉しい。楽しかったです。立派に育つて綺麗に花が咲くのが楽しみです。」と話してくれた。

斉藤さんは「みんな一生懸命植えてくれた。五年後、十年後立派なさつきになれば、自分たちが植えたんだよ！と誇りに思うよ！と先生が言った言葉に喜んでいました」と子供たちの様子を話してくれた。

【小山】

石井心都さん（二年、環境委員会委員長）は

環境委員がサツキの苗木を植樹



サツキの苗木を植樹する日野中学校生徒ら

ふるさと絆事業の一環として

地域の支援ボランティアが指導

日野町立日野中学校で15日、「日野町地域学校協働活動推進事業」(ふるさと絆事業)の一環として、サツキの苗木208株の植樹が行われた。

今回は、2009年の新校舎完成時に植えられ、約10年の間に半数が枯れてしまっていたサツキ花壇の復活のため、60歳以上の人の生きがいづくりと卒業後の地域の担い手育成を支援する滋賀県レイカディア大学同窓会日野支部8人の指導のもと

と、同校1、2年生の環境委員20人がグラウンド横の敷地にサツキの苗木を植えた。

サツキの苗木は、JAグリーン近江の地域貢献活動「グリーンピース基金」を活用して108株を購入したほか、同支部から100株の寄贈を受けた。

この日は、小雨ふるあいにくの肌寒い天候になったが、放課後に集まった生徒らはスコップを手に協力して作業にあたった。

作業を終えた環境委員長石井心都(20さん)は「サツキの植樹は初めての体験。もうちょっと簡単にできるかと思っていたけど

ど、意外と手順が難しかった」と話していた。

指導を行った同支部の斉藤清治さん(79)は「雨が降るなか、生徒たちは皆一生懸命にやってくれた。サツキは5年、10年育てて立派になる。彼ら、彼女らが成人する頃、楽しみに見に来てほしい」と話していた。

同事業では、地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支え、地域を誇りに思う心を育むことを目的に、読み聞かせや調理・ミニ実習の補佐、ウッドデッキの補修など幅広い取り組みに地域住民から支援ボランティアを募っている。

日野「ふるさと絆事業」

地域と学校が連携し、子どもたちと一緒に働きながら育てていく日野町の「ふるさと絆事業」の一環で、県レイカティア大学OBの8人が同町松尾、町立日野中で、環境委員を務める1、2年の生徒20人とサツキの苗木を植樹した。

同事業では、町内の6団体のメンバーと個人27人がボランティアを務め、5小学校と1中学校で野菜作りや読み聞かせを通して、地域の担い手の育成を支援している。この日は、昨年初めて同校でサツキの葉刈り活動をした県レイカティア大学同窓会日野分会のメンバーが参加、同会とJAグリーン近江のから寄せられた苗木2008本が用意された。生徒はメンバーに教わりながら、一緒に40秒間隔に土を掘り、苗木を植えた後、枯れるのを防ぐため少し離して固

苗木を植樹 成長楽しみ



メンバーに教わりながらサツキの苗木を植樹する生徒たち

形肥料を置き、根元に土をかぶせるなどして約2時間かけて作業を進めた。サツキは5、10年かけて立派に育つという。同分会長の木瀬昭子さん(77)は「生徒との交流は楽しい。サツキの成長も楽しみ」とにこやかに話していた。